

総 括 質 疑 並 び に 一 般 質 問 (個 人 質 問)

【質問日】令和8年6月19日（金）

質問 順位	質 問 者	質 問 事 項
1	山 平 達 也	1 本市の児童虐待対策について (1) 本市の児童虐待の相談・通報件数の過去5年間の推移、年代別・性別の割合はどのようになっているか。 (2) 相談窓口にはどのようなものがあるか。 (3) 本市における取組の現状はどうなっているか。 (4) 関係機関との連携をどのように図っているか。 (5) 今後の対策に係る市としての方針はどのように考えているか。 2 本市の消防団に係る表彰制度の現状について (1) 表彰制度はいつから始まったか伺う。 (2) 表彰に当たっての審査基準はどうなっているか。 (3) 現状の表彰制度の在り方を市はどのように捉えているか。 (4) 表彰制度の見直しの時期にあると考えるが、市の見解を伺う。 3 本市の身寄りのない方への対応状況について (1) 本市の身寄りがない方からの過去5年間の相談件数と相談内容はどのようになっているか。 (2) 相談窓口には、どのようなものがあるか。 (3) 本市における取組の現状はどうなっているか。 (4) 今後の取組として、身寄りがなくても安心して暮らせるためのガイドラインの策定は考えられないか。
2	山 中 真 由 美	1 人口減少と原発立地自治体の将来像について (1) 本市の人口減少の現状認識を問う。 (2) 本市財政に占める原子力関連財源はどの程度か。 (3) 2040年頃を見据えた場合、本市はどのような産業構造を目指しているのか。 (4) 国は地方創生2.0において若者や女性に選ばれる地域づくりを掲げているが、本市の具体策は何か。 (5) 人口減少が進む中、本市は原発立地自治体としての強みを生かしながら、どのようなまちを目指していくのか、市長の考えを伺う。 2 地域の子ども会育成会の現状と今後の在り方について (1) 子ども会育成会の目的及び役割と、PTAとの役割の違いについて、市はどのように認識しているのか見解を伺う。 (2) 現在の加入状況や活動状況をどのように把握しているか。 (3) 自治会加入率の低下や役員の担い手不足等、運営に与えている影響について市の認識を伺う。 3 川内まごころ文学館の利用促進について (1) 現在の川内まごころ文学館の利用者数と利用促進に向けた取組について伺う。 (2) 市内小学校の社会科見学における歴史資料館等との連携状況について伺う。

		(3) 郷土の歴史・文化学習の充実及び文学館の利用促進の観点から、社会科学見学において川内歴史資料館と川内まごころ文学館を、一体的に見学する取組を教育委員会及び関係部署と連携して推進できないか、市の見解を伺う。 4 市役所改革及び組織機構見直しの進捗について (1) 見直しから約2箇月経過したが、現時点における効果及び課題をどのように検証しているか。 (2) 職員との話し合い及び情報共有について、これまでの取組を踏まえて、どのような成果があったか市長に伺う。
3	富吉雄二	1 薩摩川内市こども計画について ・ 少子化・出生率目標の実現に向けた経済的支援と結婚・妊娠支援の強化が必要と考える。 - ア 令和5年から令和7年までの婚姻届の件数と、推移はどのようなものか。婚姻件数が減少傾向にある原因をどう分析しているか。 - イ 令和5年から令和7年までの出生数及び合計特殊出生率の推移はどのようなになっているか。 - ウ 出会いを望まない一定数の人たちは、先に仕事・収入の安定が重要と考えているこの現状を、どのように分析して少子化対策に生かしていくのか。 - エ 少子化対策事業の中の婚活イベント等の出会い支援事業の内容・参加者・成婚数・費用対効果、合わせて結婚新生活支援補助金の支給件数、支給金額と1件当たりの平均額とそれぞれの評価を伺う。 - オ 令和11年度の目標に出生数750人、合計特殊出生率2.00と掲げているが達成の見込みはあるか。 - カ 国や県の補助制度に対し、本市としてどのような独自の上乗せ支援を行っているのか。また、アンケート結果を踏まえ、本市独自の支援や補助金を新設、拡充していく考えがあるか。 2 「GX戦略地域制度」における有望地域選定と本市の今後の取組について ・ 有望地域選定の意義と本市の強みを生かした取組が必要と考える。 - ア 当局は、今回の有望地域選定に至った本市の強み・優位性はどこにあると認識しているのか。 - イ 最終選定に向けて本市はどのような準備・働きかけを行っているのか。また、選定後の交付金を活用した脱炭素電源、基盤インフラ整備とは具体的に何を指すのか。 - ウ 推進事業の中に脱炭素電源を核とした産業クラスターを形成するとあるが、具体的な構想は - エ 産業クラスターの形成の中で雇用創出・企業誘致の目標数値はあるか、現時点でない場合は今後作成の予定はあるか。 3 中東情勢等における本市への影響と対策について ・ 本市の発注工事における資材調達の不安と工期への影響を懸念している。 - ア 本市が発注した公共工事において、原材料費の高騰や、塗料・シンナー・接着剤等の資材調達が困難となり、工期遅延・着工延期・中断が生じている案件と対応を伺う。 - イ 物価高騰の現状をどのように認識しているか。

		ウ 消費税減税が実施された場合、減税対象外となる飲食店では、経営のダメージが大きくなる可能性がある、本市としての認識を伺う。 エ 飲食店特化型と汎用型を組み合わせた複合プレミアム商品券などの補助事業を計画することはできないか。
4	屋久弘文	1 道路愛護・河川愛護作業の将来的な在り方について (1) 市が管理する必要のある道路の数とその総延長、河川の数とその総延長を伺う。 (2) 市内の全自治会のうち、実際に道路愛護・河川愛護作業に携わっている自治会の数について、それぞれの作業ごとに過去3年間の実績を伺う。 (3) 自治会で作業実施が困難な場合に、業者に委託している道路・河川ごとの過去3年間の実績を伺う。 (4) 全市的な将来の道路・河川の維持管理の在り方について、市としてどのように考えるか。 2 今般の組織再編やそれに伴う職員配置、そして人事異動等について (1) 組織再編に伴う各課の事務分掌やレイアウトの変更について、市民や職員に影響はなかったか。 (2) 組織再編に伴う職員配置・人事異動等について伺う。 ア 月額の会計年度任用短時間職員の制度廃止に伴う職員の配置に問題はなかったか。 イ こども家庭課で行っている母子健康手帳の交付は ウ 「特命」発令は エ 人事異動は (3) 早期退職者の現状について伺う。 ア 市町村合併以降の確認ができる範囲で、年度ごとの早期退職者数は イ 早期退職者の多い現状をどのように捉えているか。 ウ 早期退職を防ぐ対策をどのように考えているか。 3 ハラスメントマニュアルの実効性について (1) ハラスメントマニュアル作成後に何件の相談が寄せられているか。 (2) 相談窓口において、どのような対応が図られたか。 (3) ハラスメントマニュアルを実効性のあるものとするために、市として今後さらにどのような対応を考えているか。 (4) ハラスメント防止対策を実効性のあるものとするために、どのような思いで任に当たっておられるか、或いは取り組もうとされているのかを、「ハラスメント対策委員会」及び「不当要求行為等対策委員会」の委員長である副市長に伺う。
5	坂口正幸	1 高齢者向けの補聴器購入費助成について (1) 加齢性難聴者の実態をどのように把握しているか。 (2) 難聴が与える生活への影響について、どのように考えているか。 (3) 高齢者の生活の質の向上にもつながると考えるが、補聴器購入費助成を検討する考えはないか。 (4) 障害者手帳の対象とならない中等度難聴者への支援について、今後どのように取り組むか。 2 介護保険における住宅改修費の支給方法について (1) 県内で受領委任払いを導入している自治体の調査を行ったか。 (2) 本市が住宅改修費の受領委任払いを導入しない理由はなにか。 (3) 受領委任払いの導入を検討する考えはないか。

		3 オオキンケイギクの駆除について (1) 繁殖状況をどう考えているか。 (2) 今後、どのような対策を考えているか。
--	--	--